



# 「志五中だより」

～響き合う学びのエリア 志五中・舟渡小ブロック～

- 【教育目標】
- ・自ら考え行動し 進んで学ぶ人
  - ・思いやりの心もち 社会に貢献できる人
  - ・豊かな情操と体力をはぐくみ 心身ともに健康な人

令和7年度 第2号  
令和7年5月19日発行  
板橋区立志村第五中学校  
校長 溝口 千里

## 「こどもまんなか」で考える教育

志五中の5月は、生徒総会と運動会に向けて、生徒たちが特に輝きを放つ月です。今春卒業した先輩たちが築いた「先輩を超える」という伝統に、今年度の生徒たちも挑戦し、学校全体が熱気に包まれています。

4 月末にはセーフティ教室を実施し、SNSの正しい使い方について学びました。この取組には、「ICT 高校生カンファレンス」で活躍した OG（現大学3年生）の協力を得ています。この事業に関わっている「こども家庭庁」は、「こども基本法」の理念を具体化するために設置された行政機関であり、「こどもまんなか社会」の実現を目的としています。

「こどもまんなか社会」とは、すべてのこどもや若者が幸せに生きられる社会をめざすという考え方です。こども基本法では、「こども」は年齢ではなく「心身の発達の過程にある者」と定義されており、18歳以上でもその過程にある者は「こども」に含まれます。また、「こども」がひらがなで表記されるのは、漢字の「子ども」がもつ年齢層の限定的な印象や、「供」という字が大人の付属物のような意味合いをもつことに配慮し、ひとりの人格としての尊重を込めているためです。

こども基本法の第三条には、こどもが「愛され、保護されること」および「心身の健やかな成長と発達」が保障されることが明記されています。これらの理念は、児童虐待のような行為が決してあってはならないという考え方に基づいており、東大前駅の事件で注目された

「教育虐待」もその対象に含まれると解釈されます。

教育虐待とは、保護者が過度に学習を強要し、場合によっては暴力や精神的な圧力を伴う行為です。たとえば、「なぜできないのか」と怒鳴る、机の物を投げつける、テストの誤答数に応じて叩く、といった行為が見られます。さらに、「あなたのため」という大義名分で、子どもが耐えきれないようなプレッシャーをかけ続けることも、心身に深刻な影響を及ぼします。

しつけと称して、以下のような行為が日常的に行われてしまう場合があります：

- ・口で 3 回注意したが言うことを聞かないので頬を叩いた
- ・他人の物を盗んだので尻を叩いた
- ・宿題をしなかったので夕飯を与えなかった

こうした体罰だけでなく、暴言や怒鳴り声、けなしなどの言動も、こどもの心を深く傷つけ、権利を侵害します。たとえ冗談であっても「お前なんか生まれてこなければよかった」といった存在を否定する言葉は、こどもの自己肯定感を大きく損ないます。兄弟姉妹と比較してダメ出しをしたりすることも知らず知らずのうちに心の成長を妨げる要因になり得ます。

私たち大人は、こどもたちの健やかな成長のために何が必要かを見つめ直し、「こどもまんなか」の視点をもって日々の教育や関わりを考えることが求められています。

生徒たちが主役として活躍する5月。この躍動の季節に、「すべてのこどもが大切にされ、伸びていく」そんな学校であり続けたいと願っています。



## 【正門のサクラを伐採しました】

開校以来、多くの人々に親しまれてきた正門のサクラ2本の伐採作業を、5月16日に実施しました。

専門業者による樹木の精密診断の結果、幹の内部に腐朽や空洞が確認され、倒木の危険性が高いと判断されたため、やむを得ず伐採を決定しました。今春のサクラは、入学式でも美しく咲き、新入生や保護者の目を楽しませてくれました。最後の春を多くの人の記憶に残してくれたことと思います。

当日は、生徒の登校が終わるとすぐに作業車が校門前に入り、6時間目までかけて伐採作業が行われました。今後予定している抜根作業に備え、幹の一部をやや長めに残して、今回の作業は終了しました。

事前に校門前の掲示などでお知らせしていたものの、当日には通りかかった地域の方から「切ってしまうのは残念ですね」と惜しむ声も寄せられました。長年にわたり、地域の方々にも愛されてきたサクラの木に、あらためて感謝の気持ちを抱かずにはいられません。



## 【運動会のお知らせ】

日時:令和7年5月31日(土)

開会式 9:00~

午前の部 9:25~11:00

午後の部 12:10~13:50

閉会式 13:50~

運動会当日はもちろんのこと、5月20日(火)以降は、学年ごとの練習や全体練習により、近隣の皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかと存じます。何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

【生徒の活躍の様子は学校ホームページ  
(学校日記)をご覧ください】

<https://www.ita.ed.jp/1320134/weblog>

※右の二次元コードをスマートフォンで読み取るか、デジタルデータ上で左のURLをクリックしていただくと、学校ホームページをご覧いただけます。

